



議会だより

第48号 平成29年5月1日発行

みやに



黒田楽 (鶏楽)

4月15日・16日

黒田神社に鶏楽が初めて奉納されたのは、1696年(元禄8年)です。それ以降、300年以上にわたり受け継がれてきましたが、昭和47年に一旦途切れました。その後、地元有志が「鶏楽保存会」を立ち上げ復活、現在まで奉納されています。

3月定例会の結果報告.....	2~7P
議会の活動報告	7~9P
8名の議員が町政を問う	10~17P
小学校の児童が議会を傍聴	18~19P
町内の頑張っている団体を紹介	20P

平成29年度 一般会計予算 123億200万円

平成29年度当初予算（一般会計及び10特別会計）は、議員全員で構成する予算特別委員会において、3月6日から9日までの4日間、集中的に審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成29年度一般会計予算は、123億200万円で、昨年度と比較して1億3600万円の減額となっています。

主な新規事業の内容を要約して報告します。

平成29年度 各会計当初予算額

(千円)

会 計 別		予 算 額
一 般 会 計		12,302,000
特 別 会 計	国民健康保険事業	3,151,769
	後期高齢者医療	350,487
	介護保険事業	2,916,039
	住宅新築資金等事業	3,212
	土地取得	290
	農業集落排水事業	159,686
	公共下水道事業	109,839
	犀川財産区管理会	631
	城井財産区管理会	3,254
	水道事業	収益的収支 475,872
		資本的収支 404,406

公営住宅建設事業

(担当課:建築課)

- ・岩熊団地改修工事
- ・新豊津団地建設のための基本計画策定業務
- ・小長田団地（8期）建設のための基本・実施設計業務

予算額：2億4,040万円



岩熊団地

小学校整備事業

(担当課:学校教育課)

- ・犀川地区小学校建設のための実施設計業務
- ・豊津地区小学校建設のための基本構想業務

予算額：9,002万円

し尿共同処理事業

(担当課:住民課)

平成30年度から行橋市と、し尿・浄化槽汚泥の共同処理を行うための準備予算

予算額：3億325万3千円



行橋市し尿処理施設「音無苑」

学校給食費補助事業

(担当課:学校教育課)

子育て世代が抱える経済的負担の軽減と、子育て支援の推進を目的に、一定要件を満たした第3子以降の給食費を補助する。

予算額：324万6千円



学校給食

県営伊良原ダム
完成記念イベント事業

(担当課:観光まちづくり課)

平成29年度末に完成予定の県営伊良原ダムの完成を祝うと共に地域の振興を目的に開催する。

予算額：1,000万円



県営伊良原ダム完成予想図

本因坊戦開催事業

(担当課:生涯学習課)

地域の振興を目的に、全国的に注目度の高い本大会を通じ、みやこ町の魅力を全国へ発信する。

予算額：332万3千円

第72期 本因坊戦第4局「みやこ町対局」の対戦者及び日程

- ・対戦者：本因坊文裕（井山裕太） vs 本木克弥八段
- ・日程：6月15日、6月16日
- ・会場：サングレートみやこ 和室



本因坊文裕氏

平成29年第1回臨時会を1月31日に開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成29年第1回臨時会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

平成29年第2回定例会を3月1日から3月23日までの23日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成29年第2回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (北山文雄氏を推薦)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	適任
みやこ町沿道区域指定の基準に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町るか奨学資金基金条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町るか奨学資金貸与条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決
みやこ町支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
みやこ町駐在員等の設置条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町税条例等の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町地域活性化基金条例を廃止する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町総合観光案内所の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業共同作業所の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業振興施設の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について (寺田線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について (椎ノ木・居屋敷線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について (道出中線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について (道出外線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
豊前広域環境施設組合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席。

平成29年第2回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
豊前広域環境施設組合を組織する市町数の減少に伴う財産処分について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町一般会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町一般会計予算に対する修正動議		●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	否決
平成29年度みやこ町一般会計予算		○	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	●	可決
平成29年度みやこ町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町土地取得特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町農業集落排水事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町公共下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
平成29年度みやこ町犀川財産区管理会特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町城井財産区管理会特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
民生委員の活動費に関する改善を望む意見書(案)について																	継続審査
みやこ町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東九州自動車道の開通に伴う京築地域の産業及び観光振興の経済効果向上に関する意見書(案)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

議案に対する討論

平成29年度みやこ町一般会計予算に対する修正動議

(提案理由) 小学校建設事業基本構想業務については、通学路の安全対策等の周辺整備計画が不十分であり、子どもたちが安全に学校生活をおくれる状況にない。よって、小学校建設事業基本構想業務に係る委託料の削除を提案するものである。

反対

長年にわたってこの場所に小学校はある。確かに通学路は多くの問題をかかえているが、保護者を初め多くのボランティアの方々が見守り活動をして安全な通学に努めている。行政には、一日でも早く通学路等の問題を解決することを求める。

この学校再編整備計画については、町民等に幾度となく説明し、将来構想を明確に打ち出しているものである。ここで小学校建設基本構想業務が削減されることは小学校の再編がストップすることを懸念して反対討論とする。

賛成

小学校と地域の連携協力がこれまで以上に必要となってきた。

地域の子どもは、地域で育み育てることでふるさとを愛し、将来みやこ町を支えていく人材が育つのではないか。そのことが人口減少にも歯止めをかけることにつながる。

早急な学校統合ではなく、緩やかな統合を進める立場から修正動議に賛同する。

反対

少子高齢化が進行する中で、若者の定住施策や子育て支援を進めているが、残念ながら出生率は低下し子どもたちの数は減少している。この状況の中で教育を本当に充実していくというスタンスのもとで学校の統合計画は進められてきている。

地域の中心に学校があり、その子どもたちを支える環境をつくっていくことが大事である。この修正案により子どもたちの環境が低下をしていくことを危惧し、この修正案に反対する。

賛成

本来ならば小中一貫校の予定であった。議論も曖昧のまま豊津地区の小学校を豊津小学校の1校のみにするという方針である。

地域を支える。それは学校である。地域は学校を支え、学校も地域を支えていく。そのような観点が必要ではないか。

少子高齢化が進んでいるこのような時だからこそ、地域コミュニティの核である学校を守っていく。その姿勢にぜひ立っていたいただきたい。このように考え、この修正案に賛成する。

平成29年度みやこ町一般会計予算

反対

小学校再編整備事業費については、文教厚生常任委員会で周辺整備等について様々な質問をしてきた。その中で周辺整備に係る予算はいまだ検討されていないとの回答であった。十分な議論がなされたとは言えない。

このような観点から、平成29年度一般会計予算に対しては、多くの非常に大切な予算が含まれているが、修正案を否決されたことにより反対とする。

反対

平成29年度一般会計予算においては、子ども医療費の充実や新たに学校給食費の補助事業などの住民生活にかかわる大変貴重な予算であることは承知している。

学校統廃合の問題で従来から行政は学校再編と言ってきた。しかし実質は、学校を廃校にすることだ。

今回の予算について、本庁別館書庫建築事業や就職支援事業等が計上されている。地方自治体のみで有用な人材の確保は困難な状況であるが、このような事業で本当に有用な人材の確保ができるのか。このような小さな予算だからこそ考え提案して頂きたい。このように考え反対討論とする。

委員会審査報告

総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された
主な議案の審査概要を報告します。

総務常任委員会（3月15日）

城井出張所を廃止

機構改革に伴い城井出張所を廃止するもの。

Q 城井出張所廃止後の建物の利用計画は。

A 城井出張所は、学習等供用施設内に設置している。出張所としての利用は、行わないが、学習等供用施設としての利用は今後行う。

産業建設常任委員会（3月13日）

沿道区域指定の基準に関する条例を制定

道路の構造に及ぼすべき損害を予防し、または道路の交通に及ぼすべき危険を防止するため、道路に接続する区域を沿道区域に指定するための基準を定めるもの。

Q 町が指定する場合は、住民の要望により指定するのか。

A 原則は、地元要望により町が必要と判断した場合に指定する。

Q 県道もこの条例の適用をうけるのか。

A 県道は、県の管理であり県の対応となる。今回の条例では、道路法に定める町道が対象となる。

文教厚生常任委員会（3月16日）

るるか奨学資金貸与条例を制定

善意の寄附金を財源とし経済的理由により就学困難な者に対し就学するための資金を貸与するもの。

奨学金の返還免除の基準は。

A 教員になること。若しくは、町内に居住又は、町内で就業すること。のいずれかに該当する場合に奨学金を免除する。

※奨学金の返還免除基準には、その他に詳細な要件があります。

議会の活動を報告します！

総務常任委員会

鹿児島県垂水市を視察研修

1月25日

なぜ必要 自主防災組織

みやこ町は、山あり谷あり急斜面ありの地形上、地震や豪雨災害などの広域的、大規模な災害が発生した場合は、電話の不通、道路等の寸断等、多様な被害発生により防災関係機関の活動能力は著しく制限されることが予想されます。

このような事態において、災害による被害の防止又は軽減を図るためには、住民の自主的な防災活動、すなわち住民自ら出火防止、初期消火、被災者の救出救護、避難等を行うことが必要となります。

これらの防災活動を行うにあたり、住民が地域ごとに団結し、組織的に行動することによって、その効果が最大限に発揮できます。従って、地域の事情に詳しい住民によりその実情に応じた自主防災組織が設けられ、日頃から災害が発生した場合を想定し

た訓練を、積み重ねておくことが重要となります。

現状の組織率

	垂水市	みやこ町
世帯数	7,807	7,500
自主防災組織	7,511	2,200
組織率	96.21%	29.33%

人口：15,800人
面積：162.12km²
(平成28年4月1日現在)



垂水市での研修模様

基地対策特別委員会

沖縄県北中城村を視察研修 きたなかぐすくそん 2月13日

米軍施設キャンプ瑞慶覧^{すけらん}は村の総面積に対する割合は約14%で今なお米軍基地があります。

米軍施設キャンプ瑞慶覧などがあり、特定防衛施設周辺整備調整交付金は、4500万円から5500万円交付され、住宅防音工事は嘉手納飛行場・普天間飛行場による対象区域が指定されています。航空機騒音の状況及び電波障害(米軍航空機が通るとテレビが映らないなど)受信障害対策事業など伺いました。

「アワセゴルフ場」返還

平成 22年7

月に返還された米軍施設「アワセゴルフ場」跡地を活用し、

北中城村は、世界遺産に認定され

た中城城跡や国指定重要文化財等、歴史的遺産が数多く残された魅力ある村です。

沖縄本島の中部地区に位置し、那覇から北東へ 16 km 離れ、南側は中城村、宜野湾市に、西側は北谷町、北側は沖縄市に面して、二市二町村となり合っています。

第二次世界大戦後、占領軍の施設

によって中城村が南北に分断され、行政の執行上の支障から、昭和 21年5月20日、中城村の北側に属した12行政区が分離して、新たに「北中城村」として誕生しました。

中部圏域にお

ける「広域交流

拠点の核を目

指したまちづ

くり」が計画さ

れてきた。公園

や住宅地区の開発はこれからです。



住宅地に隣接する普天間飛行場

文教厚生常任委員会

三重県南伊勢町を視察研修

2月21日

南伊勢町の包括支援事業・任意事業における認知症総合政策事業等を視察研修しました。南伊勢町では、平成27年12月に「初期集中支援チーム検討委員会」を設置、その翌年の2月に「認知症初期集中支援チーム」を設置し、チーム員活動に取り組んでいます。

南伊勢町の包括支援事業・任意事業 いただき、ゆったりとした心地よい時間を過ごすことができました。その後担当者からの説明を受け、意見交流を行いました。

今後、みやこ町の認知症政策を進めるうえで大変参考になる視察研修でした。

チーム員は認知症のサポート医、保健師、看護師、社会福祉士などです。チーム員が家庭を訪問し、認知症の困りごとや心配事の相談に伺い、主治医や認知症サポート医と連携し本人や家族の支援を行っています。

また、毎月1回認知症の人やその家族を支えるつながりを支援し、認知症の人の家族の負担の軽減を図るため、認知症とその家族、地域住民、サポーター、行政の専門職がカフェの形態で集う「認知症カフェ(カフェ日和)」を開催しています。

カフェの様子を実際に参観させて



カフェ日和を参観

活 動 報 告

1月から3月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
1月 5日(木)	広報特別委員会、京築広域圏消防本部点検式
1月 6日(金)	みやこ町新年あいさつ会、築城基地賀詞交換会
1月 8日(日)	みやこ町成人式
1月10日(火)	犀川中サッカー部九州大会代表選出選手表敬訪問受入、みやこ町社会福祉協議会理事会
1月11日(水)	町営今里団地(第2期)竣工式典
1月13日(金)	広報特別委員会
1月14日(土)	みやこ町消防出初式
1月17日(火)	総務常任委員会
1月18日(水)	広報特別委員会
1月19日(木)	福岡県町村議会議員研修会
1月25日(水)	田川市議会視察受入
1月27日(金)	駐在員会役員と全議員の意見交換会
2月 1日(水)	全国市議会議長会基地協議会総会
2月 3日(金)	新・中津街道推進会要望活動
2月 4日(土)	みやこ町サッカー大会
2月 5日(日)	崎山ひまわり会20周年記念「感謝の集い」
2月 6日(月)	福岡県議会文教委員会視察受入
2月 7日(火)	神奈川県川崎市議会視察受入
2月 8日(水)	文教厚生常任委員会
2月13日(月)	京築広域市町村圏事務組合第2委員会
2月16日(木)	京築広域市町村圏事務組合消防委員会、京都郡議長会視察研修
2月17日(金)	豊前広域環境施設組合議会定例会
2月20日(月)	みやこ町女性学級合同閉級式、福岡県町村議会議長会定期総会、豊前地区三郡町村議会議長会正副会長・事務局長会議
2月23日(木)	京築広域圏事務組合議会定例会
2月24日(金)	京築地区水道企業団議会定例会
2月26日(日)	三重塔まつり
2月27日(月)	行橋市みやこ町清掃施設組合議会定例会
3月 5日(日)	林酒造蔵開き
3月10日(金)	町立中学校卒業式
3月14日(火)	伊良原小中学校卒業式
3月17日(金)	町立小学校卒業式
3月20日(月)	伊良原大橋(11号橋)完成記念、みやこ町ジビエSAI
3月30日(木)	全員協議会



みやこ町成人式



町営今里団地(第2期)竣工式典



福岡県町村議会議員研修会



三重塔まつり

Q

平成30年度からの 農業施策の進め方を問う

A

経営戦略に即した生産の提言をしていく



夫 秀 夫
本 議 員

絡を密にとるとともに協力を仰ぎ、「農地中間管理機構」を通じて、遊休農地の管理的条件等を考慮し、認定農業者等に斡旋していく。

産地づくりについて

Q 次年度より実施する「農業構造再編」の骨子として、

4本の柱

①減反の廃止

②転作支援の強化

③対象農家の明確化

④日本型直接支払制度の創設

とあり、②の転作作物の振興

並びに補助制度については、

各行政に委ねるとあるが、

その方向性を問う。

A 現在、みよこ町が推進

している土地利用型作物を

はじめ、イチゴ・ネギ等々

を進めるが、詳細については、

「土地利用協議会」に於いて

協議し決定する。

介護について

Q 団塊の世代といわれる方々も70歳を迎えており、

経済的理由により自宅での老々介護が増えてくる。在宅介護のなかで、介護者への支援策を含め制度の見直しが必要と考えるが、いかがか。

A 地域支援を念頭に、「今

風、井戸端会議」等の自助

グループの育成に努めるとと

もに、認知症患者或いは家

族が、積極的にグループと交

わり、色々な相談等が出来

る土壌づくりを行っている。

また、在宅介護

者への支援策を第

7期介護保険事業

計画のなかで委員

会を立ち上げ協議

していく。

防災並びに組織の編成

Q 伊良原ダムも、まもなく完成するが、下流の祓川

には漂流物等が堆積し、洪水

水が起きかねない。

また、防災組織の編成に

ついては、消防団を中心に

考えてはいかがか。

A 河川の浚渫については、

早急に県に要望する。

防災組織については、区長

会並びに消防団と協議する。



祓川に堆積した漂流物



田中 勝馬
議員

Q 教育委員会の法律が変わるが

A 一本化した新教育長を置く

教育委員会の組織及び運営に関する法律の一部改正について

Q 教育委員会の責任の明確化について、新教育長の任期、身分、地方公務員法等について、今後どの様になるのか。

A (教育長) 教育委員長と教育長を一本化した新教育長を置くことになり任期は3年

とする。身分は、特別職で公務員法は適用されない。

Q 総合教育会議の設置、構成員招集等は、どの様になるのか。大綱の策定は、毎年作成するのか。

A (教育長) 首長が、総合教育会議を設け、首長が召集し教育の振興に関する施策の大綱を策定する。第2次みやこ町総合計画

を持つて大綱としている。

Q 国の地方公共団体への関与の見直しについて、今後、国と地方との関係はどの様になるのか。

A (教育長) 文部科学大臣の教育委員会への是正指示については、従来から地方自治法の規定により実施できるが、今回の改正では正指示を行う要件が明確になった。

Q 保護者委員の選任について、何名程度選任しているか。

A (教育長) 保護者枠としては、1名を選任し、児童生徒の保護者の意見を教育委員会に反映できる人材の登用に努めている。

Q 教育委員会の自己点検・評価の活用について、住民への説明責任をどの様に果たしているか。

A (教育長) 毎年、教育委員会の事務執行に関する評価を実施し、点検及び評価された報告書を議会に提

出し、ホームページに掲載し公表に努めている。

県営伊良原ダム周辺の整備について

Q 水没区域内の立ち木処理は、どの様にされるか。

A 水没地の残り、ダム直上流の流木止めまでの範囲、ダム管理上支障となる範囲のみを伐採することとされている。

Q ダム堰堤の放流水の両側に世界最大級の龍の建造物として「金龍・銀龍」2匹の昇り龍を設置し京築地域の一大ポイント地として活性化を図ってはどうか。

A ダムの建設は、福岡県が行っているので、今後、県の方に相談をしながら話を進めていきたいと思っている。

Q ダムの湖面を利用してボート・カヌー・ウインドサーフィン等が出来るように申請し

てはどうか。

A 伊良原地域はもとより、みやこ町活性化のためには、湖面利用が貴重な資産になることから、県に対し強力に働きかけ実現を目指してまいりたい。

Q 岩屋河内の埋め立て造成地に高齢者の健康増進を目的に認定グラウンドゴルフ場の建設を求める。

A 今後の検討課題として、早急に県と相談しながらやってまいりたい。



県営伊良原ダム水没地域内の立ち木

Q

伊良原、帆柱の地を 音楽イベントの聖地に

A

地域活性化に有効な手段なので、
地元と協議したい



中山 茂樹
議員

Q 伊良原、帆柱地域の活性化の為に、毎年ダム周辺で夏のキャンプシーズンに町内の園児、小中高校生にブラスバンド部や少年少女合唱団、ミミズク合唱団の演奏会等、また、みやこ町観光大使の永井龍雲氏や東京芸術大学の方や、地元の若手音楽家と共同で一大イベントの開催を考えてはどうか。

A 現在は森林公園整備事業、伊良トピア公園整備事業を中心に伊良原地域はもちろんのこと、みや



清流の郷帆柱キャンプ場まつり

こ町の観光浮揚、地域活性化を計画している。既存の清流の里交流施設などを含め、新たな観光、交流の拠点として、交流人口の増加を期待している。
提案の音楽会、コンサート等の開催については、地域の活性化に有効な手段と考えられるので、地元の住民団体、音楽関係諸団体、ボランティア団体と検討したい。

有害鳥獣加工施設の管理運営

Q 加工施設建設の第一の目的は農作物に大きな被害を及ぼす鹿や猪等、有害鳥獣を加工処理する事が第1である。加工処理して販売する事が主たる目的ではない。運び込まれた鹿、猪の大小や商品価値のあるなしに関係なく、加工施設で処分すべきと思うが、この点を尋ねる。

A 有害鳥獣加工施設は、管理運営委託契約により、犀川四季犀館に委託している。当該施設では、規格内の鹿、猪の買い取りを行い、みやこ肉として販売を行っている。残渣は、北九州の処理施設へ搬送処理している。

施設での買い取りに関して、歩留まりが悪く、採算がとれない等の理由で、規格外の物は、捕獲した方に処理をお願いしている。今後も、捕獲者で処理をお願いしたい。

Q 加工施設の職員を育成すべきと思う。

加工施設作業員の後継者確保は、喫緊の課題と認識している。新たに解体作業に携わっていただけの人材の掘り起こしは、管理運営を行っている四季犀館と共同で行っている。

また、運営に関しては、大手販売業者への出荷ができ、在庫を抱えず運営が行えている。

町営住宅入居条件の緩和について

Q 町の人口減少を食い止めるため、子育てしやすい町づくりのため町営住宅への入居希望者が、入居し易いように入居条件を緩和すべきではないか。

A みやこ町定住策の観点から、平成26年度に入居時の連帯保証人を2名から1名に変える条例の改正を行い、入居条件の緩和に努めてきた。



熊谷みえ子
議員

Q

公共施設の再配置とは

A

学校、保育所、公民館、図書館などすべての公共施設を対象に、統廃合を計画している。

Q 学校教育の問題。

中学校を1校にするという案と犀川の小学校についても統合を前提としての新築、そして新たに示されたのが豊津小学校についての現地での建てかえ、しかも豊津地区の全小学校を集中統合する。中学校1校にするとの事、この設置場所によって、みやこ町の中学生

はどこに行くか、それをまず考えていただきたい。

学校の統廃合で、ますます地域が衰退する方向ではないか。

A (教育長) より課題の少ない豊津小学校ということ

で総合的に判断し、豊津小学校の敷地で建てかえの予算を、要望している。

一番の理由は、中学校の

子供たちの数の減少で、中

学校1学級で小中一貫教育校か、統合校として1学年3クラス程度の中学校をつくるのかで、中学校1校ということを選択した。

Q 第2次のみやこ町の総合計画には、3図書館の連携、図書館の情報提供の充実を図る、図書館を活用した地域文化活動を促進する。

第2次総合計画に示されているにもかかわらず、図書館の廃止検討である。

A 蔵書等も分散、3つあることは質が落ちるので、

図書館の内容、機能については一つに集約の方向性を示した。

機構改革について

Q 課の再配置に伴い支障がないよう受付業務の改善策を求める。

各課が再編されるが、課の再配置に伴う窓口業務に支障がないような対策は考えているか。来庁受付業務

の改善策を求める。

犀川支所、豊津支所の支所機能の業務内容の見直しについて伺う。総合窓口から住民課ということになった。住民課の配置のみでサービスは確保できるのか問う。

また、平成29年度中に支所の移設先を検討するとも報告をされているが、方針を伺う。

各支所の金融機関では5時までは窓口で、納付ができる実態が今はある。

A 受付業務を円滑に行えるよう本庁では案内係員を配置し、受付番号の配付、待合場所の設置などを予定している。

支所業務は、住民課所管の証明書等の発行や税務課所管の証明書等の発行及び納付書の再発行業務などは、従来どおり支所に対応する。

4月1日からは、金

融機関の対応については、金融機関の職員のみに対応で、始まりが9時半から、終わりが3時半である。以後は支所の窓口でなく、コンビニのほうで納めてください。

窓口業務以外の相談や要望等は、役場OBの窓口相談員で対応。



犀川支所の住民課窓口

Q 給食費の補助対象者は

A 町立小中学校に在籍する3人以上 養育する保護者が対象となり助成する



小 田 勝 彦
議 員

- Q** 給食費補助金の支給の時期や広報は。
- A** 支給制度の要綱を制定し、町の広報誌や学校通信等で周知を図る。
- Q** 29年度、多子家庭第3子以降の対象者数は。
- A** 全校児童生徒数1395名中、補助対象児童生徒数70名を対象にした予算。
- Q** 交付対象者の申し込みや制度ついては。
- A** 夏休み後を予定しており、制度は、子育てしやすい町づくりに資するものであると考える。

公費による給食費補助者数見込 (単位:人)

区 分	人 数
町立小中学校 児童生徒数	1,395
公費による補助対象児童生徒数	402 (約29%)
給食費補助事業による 対象者見込数	70
要保護・準用保護対象者数	332

- Q** 30キロ交通規制についてみやこ町でゾーン30を実施している地域は。
- A** 平成28年11月より幼稚園や小中学校が密集する黒田地区に通学する児童生徒の安全を最優先したゾーン30による交通規制地域の整備を実施している。
- Q** 学校再編に伴いゾーン30を犀川、豊津地区にも導入の考えは。
- A** 警察や地域の方々と協議しながら検討する。

国指定、綾塚古墳駐車場整備について

- Q** 古墳まつりが毎年開催され多くの方が古墳見学に訪れる。車社会の世の中であるが、国の指定史跡である綾塚古墳周辺には、駐車場がない。また、観光するには、トイレは必要であり古墳まつり開催時から何度か質問しているが、予算化された実施計画については。
- A** (教育長) 平成29年度当初予算において、駐車場用地購入費を始め関連予算を計上している。

- Q** 古墳周辺の清掃や草刈も綾塚地区住民の方々にやっていただいている。駐車場の整備は早くから望んでいた事案であり、地域の要望も考慮して、駐車場整備に着手して頂きたい。



古墳まつりでの基調講演

- A** (教育長) 今後、駐車場の場所等も含め地元の皆様と具体的な協議を進める。
- 防犯・防災対策について**
- Q** 勝山地区戸別無線機や町内全域における防犯灯のLED化について進捗状況は。
- A** 戸別無線の進捗率は、不在や連絡が取れないなどの要因で3月6日時点93%。防犯灯LED化は勝山、豊津地区は完了、犀川地区はダム工事の関係で一部が残っている。



柿 野 正 喜
議 員



道が狭く里山のふもとに置く貨物車

【A】27年7月からJTB西日本(株)と提携しインターネットのサイトから申し込みが可能となり、謝礼品の種類も70品目程度でしたが、28年度は

ふるさと納税寄附金
【Q】自治体によれば何億円、何十億円の寄附金が集まる自治体が見受けられるが、当町の推進対策と28年度の決算見込みはどうか。

【Q】ジビエを盛んにPRしているが、今一人気が上がらないがどう分析しているか。
【A】なじみがなかったものを食するということは、なかなか難しい。そういうなかでも少しずつ普及してきており時間をかけながら販売を続けていきたい。

【Q】平成初期までは、地域に暮らす人々にとって里山は生活に欠かせない食糧基地でもありました。時代の移り変わりが里山には人影を見ない状況にあります。年々進む里山の荒廃をどう捉えているか。
【A】適正な里山を維持していくには山村地域の住民が協力して、里山の保全管理や森林

資源の活用を継続的に実施していく体制を整えることが不可欠であり、25年度より森林・山村多面的機能発揮対策事業を活用し現在11団体が活動している。今後も継続的な里山の保全活動に支援を行って行く。

A

保全活動団体を支援していく

Q

荒廃する里山を
どう捉えているか

伊良原地域の振興

【Q】著名な設計士による伊良原小中学校校舎を建設し地域観光の目玉にする。随所で言われてきたが、伊良原小中学校の見学者数の状況を伺う。

【A】現在、一般の見学者については、みやこ観光まちづくり協会が対応しているが、28年8月から12月までの5か月間で見学者は86人となっている。

【A】(教育長) 視察見学者は、昨年3月以降町内外の社会教育団体、県や近隣市町の行政関係者等約300人を受け入れている。

【Q】地域活性化の中心になるやに思われる建設中の伊良トピア館(仮称)の概要を伺う。
【A】主に農家レストランと物産販売所からなり床面積218㎡、レストランは51㎡、28席となっている。

最近5か年のふるさと納税寄附金額

年 度	寄 附 金 額
24年度	1,180,000円
25年度	1,780,000円
26年度	2,160,000円
27年度	31,000,000円
28年度	15,000,000円(見込)

業者数を増やすとともに品目を100品目に増加した。28年度決算は1500万円を見込んでいる。

Q

町職員の男女比率並みの 女性の管理職を

A

女性の割合33.3%で管理職は7.9%



柿 野 義 直
議 員

Q 女性管理職の割合が低い原因は。

A 管理職候補である係長職の女性が少ない。

Q 今後の取り組みは。

A 平成27年度に策定したみやこ町特定事業主行動計画に目標を掲げて実施している。

平成31年度末までに女性の管理職を30%にすることを目標にしている。この計画に基づき、女性の能力開発に関する研究や職員の意識改革を進める取り組みを実施して、女性を管理職に登用できるよう努める。

この計画は、平成29年2月に町のホームページに載せている。

Q 国が掲げている目標の管理職30%からみて低いとその理由は、首長の考え方がかかっているとの指摘があるが。

A 係長では男性48人、女性8人。主任・主査では男性54人、女性50人となっており5年から10年先には増える。「子育てが大変だ、入るときに管理職という意識がなく入った」という人もいるが、今の若い職員には大変意欲があり、もう少し待っていただけたら課長が誕生すると確信している。

人口減少対策は

Q 町が掲げる目標人口は。

A 国立社会保障人口問題研究所によると、みやこ町の人口は2060年には9057人と推計される。みやこ町人口ビジョンでは、目標を2020年（平成32年）1万9500人、2060年（平成72年）1万5000人としている。

Q 人口減少を食い止める施策は。

A まち・ひと・しごと創生総合戦略では、雇用の創出、交流人口の増加、結婚・子育ての支援、地域と地域の連携とする4分野の基本目標を定めている。基幹産業である農業の担い手育成、情報発信や観光まちづくりのブランド化、宅地分譲販売、デマンドタクシーの運行など取り組んでいる。

Q 2017年3月時点で2万2000人だ。目標は可能か。

A 2030年に町民が希望している希望出生率は、1.87であり、2040年の人口置換水準は、2.07である。それら予測に社会増減、自然増減を含めて予測しているが、あくまで目標である。

Q 今の出生率は1.1から1.2である。出生率の急激な上昇は望めない。年間350から400人の減

※人口置換水準とは・・・人口が将来にわたって増えも減りもしないで、親の世代と同数で置き換わるための大きさを表す指標であり、人口置換水準に見合う合計特殊出生率は社人研の算出によると2.07となる。

2008～2012年の合計特殊出生率の比較

	合計特殊出生率
みやこ町	1.33
荻田町	1.76
行橋市	1.60
福岡県	1.43
全 国	1.38

少が続く。2017年度は、都市計画を策定する。実態に合った人口目標で策定しなくてはならない。



橋 本 真 助
議 員

行政改革推進委員会を立ち上げ予算の見直しを行い

執行計画を策定するとともに、計画に基づいた予算編成を行う。ソフト事業については、目的や効果を検証し見直しが必要と考えている。

Q ソフト事業ハード事業の見直しについてどのような考えを持っているのか。

A 執行計画を策定するとともに、計画に基づいた予算編成を行う。ソフト事業については、目的や効果を検証し見直しが必要と考えている。

Q 委員会は、いつ立ち上げ予定なのか。予算審議はどの段階から行うのか。

A 29年度早々から立ち上げをする予定である。

Q 予算編成のあり方について

A 具体的な事業の検証作業を行う

Q 査定の考え方について、うかがう。

A 予算査定は、町制を運営する上で必要な経費をいかに効率的に配分、組み立てるかを精査、決定することが必要であり、先例や慣行にとらわれることなく、最小の経費で最大の効果が上げられるように、今後効率性的、かつ効果的な予算編成に努める。

Q ダムの有効活用について

Q ダムの活用について東京オリンピックに向けてオセアニア選手の練習受け入れの誘致の検討がなされていると報告があったが、この機会に、マリンスポーツなどの取り組みを県に交渉してみてもどうか。

A 福岡県ではマリンスポーツなどによるダム湖面利用は、現在のところ行われていない。湖面利用での町の活性化についてダム建

設事務所を通じて県に問い合わせをしている。県からの回答を踏まえて今後、前向きに取り組む。



本庄池でのヨット・カヌー教室

える子どもたち!



犀川小学校の児童が議会を傍聴～

また、3月3日の議会には城井小学校と犀川小学校の6年生の子どもたち32名が傍聴にきました。感想文を頂きましたので、少しずつですが、ご紹介いたします。

☆質疑が無い時は次に進み、進行をスムーズに進めていましたが、混乱せずしっかりと答えていたので、上手だなあと思いました。

今回の議員さんの中に女性は一人しかいませんでした。だから、私は議員になれないかもしれないけど、選挙などには積極的に参加して、政治に関わっていったらいいなと思いました。

☆傍聴席に入った瞬間、役場の中との雰囲気がなんとなく違うことに気づきました。

日ごろ、学級会で話し合いをするのですが、勝手に話し、なかなか進みません。だけど議会はスムーズに進むので聞き取り易かったです。

☆議場の雰囲気は、とても緊張感がありました。町長のお話の中に、三重塔祭りなどの祭りの話題があって、その部分がとても気になりました。



久保小学校6年生 議長室にて

傍聴に来てくれて
ありがとう!
また、勉強に来てね☆



城井小学校6年生 議長室にて



諫山小学校6年生 議長室にて



地域の将来を考

～久保小学校・諫山小学校・城井小学校・

3月1日の議会を久保小学校と諫山小学校の6年生の子どもたち28名が傍聴に来ました。
子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。



犀川小学校6年生 議長室にて

☆話はよく分からなかったけど、雰囲気は静かで集中していました。見学しているだけで緊張しました。

☆想像していたよりも、あたりまえですが、身近な話だと思いました。町長さん達が話しているのを聴いて、私は発表が苦手なので話せなくなってしまうので、堂々と話していてすごいと思いました。

☆質疑に応答する人は、その内容にあった人が答えていたので、それぞれ役割があることが分かりました。質疑がないときは、次の問題に行っていたので、早く進むので上手だなと思いました。



傍聴席にて

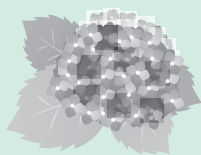
議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することが出来ます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

なお、3月議会の傍聴者は97名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。是非ご覧ください。

次回、6月定例会の招集日は、6月7日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。



がんばつちよる

地域おこし協力隊 柳瀬ごぼう



特産品 柳瀬ごぼう

地域おこし協力隊特産農作物生産支援の米原哲平と斎藤勇二です。私たちは、犀川柳瀬地区の柳瀬営農組合で農産物の生産支援を行っています。柳瀬地区は、「ゴボウが特産農作物で、「柳瀬ごぼう」としてJ Aふれあいの直売所などに出荷をしています。「柳瀬ごぼう」は、ほかの「ゴボウ」に比べて柔らかく、香りがよく、白いのが特徴で



斎藤隊員（上）、米原隊員（下）

びました。

さて、厳しい寒さもそろそろ終わりをづけ、植生の過ごしやすい季節がやってきます。「柳瀬ごぼう」は春が一番旬で一番おいしい季節となります。柳

す。地元の食卓では、味ごはんなどにして親しまれています。毎年みやこ町役場犀川支所で行われる産業祭では、「ゴボウのから揚げ」「ゴボウスティック」として出店も行っております。私たちはその「柳瀬ごぼう」をPR、ブランド化するために協力隊として派遣されました。

私たちは、協力隊になってからちょうど1年間、柳瀬営農組合の方たちと一緒にやって野菜たちを育ててきました。夏は農作業から草刈りまで汗を流しながら行い、冬は雪や霜の降りる中、寒さに耐えながら野菜の管理をし、たくさんのごことを柳瀬営農組合の皆さんと体験していく中で野菜づくりの大変さ、野菜への愛情の注ぎ方を学

連絡先

地域おこし協力隊

特産農産物生産支援

米原哲平、斎藤勇二

Tel 0930-3212512

みやこ町役場 農林業振興課内

編集後記

新緑の季節。木々の緑がやすらぎと元気をあたえてくれます。

新年度を迎え、様々な人が新しい環境で新しい生活をスタートしたのではないかと思います。理想の町づくりを目指し、みやこ町が誕生してから10年を越えました。10年という期間は様々な面で、ほころびといえますか反省すべき点が出てくる時期ではないかと思われま

今年度、機構改革により課の再編が行われました。新たなみやこ町としてのスタートです。我々議会も町民と共に「新たなみやこ町」を創っていく事が出来ればと思います。

暑い季節に向かいます。健康にはくれぐれもご留意下さい。

肥喜里 雄二



議会広報 特別委員会

委員長	熊谷 みえ子
副委員長	柿野 正喜
委員	肥喜里 雄二
吉竹 次男	
中山 茂樹	
中本 秀夫	
飯本 英壽	
発行責任者	